

懐かしい！ 30年前のタイムカプセル

学校のホームページで少し紹介したのですが、タイムカプセルのことについて書くことにしました。

宝塚市にはかつて「宝塚ファミリーランド」という遊園地がありました。西宮市甲子園にあった「阪神パーク」という遊園地とともに、私が幼少のころには家族や遠足でよく行ったものです。宝塚市の小学校に勤めてからも、校外学習や写生会などでファミリーランドに行った記憶があります。

今から30年前、そのファミリーランドに隣接したところに、宝塚市が「手塚治虫記念館」を開館しました。ご存知の方も多いと思いますが、鉄腕アトムなどの漫画で有名な漫画家の手塚治虫さんは、子どものころ宝塚市の御殿山というところに住んでおられ、のちの漫画家としての礎を育まれました。なので、手塚治虫さんの漫画には宝塚市が時折描かれており、手塚治虫さんが結婚式を挙げた旧宝塚ホテルも漫画に出てきます。

この手塚治虫記念館の入り口付近にある「火の鳥」の平和モニュメントですが、その台座の部分にタイムカプセルを設置して、1994年8月4日に宝塚市の小中学校の中から希望する学校の記念の品が収められました。このカプセルは30年後に開けるという約束だったので、今夏の8月20日にカプセルは開けられました。

開けたカプセルの中に西谷小学校と書かれた包みが出てきました。中を開けると、当時の学校要覧（学校のパンフレット）、毎年作られていた作文集「しんめ」（創立120周年記念号）、創立120周年記念誌、創立120周年を記念した集合写真の載った下敷き、同じくテレフォンカード、当時の児童名簿、研究冊子（西谷小学校で当時研究していた国語科や生活科のまとめ）、平成6年（1994年）1年生の願いごとカードの綴り、2年生の大人になった自分に向けた作文の綴り、3年生の「30年後のぼく、わたしへ」という題の作文の綴り、4年生の「未来を拓くわたしの手」と題した手のひらのデッサンの綴り、5年生の自然学校のしおりと図工の時間に描いたグローブの絵の綴り、6年生の「にしたに少しぶん」の綴り、が入っていました。当時の子どもたちと先生たちが相談して、カプセルに入れるものを考えたんだなあと、感慨深いものを感じました。

これらのものを作成された方々にお返しすることがいいのかなと思いますが、全ての方に行き渡るかどうか心配なところもあります。そこで、当時と今ではコンプライアンスが違い、名簿や作文などに個人情報載っているものも含まれているかもしれませんし、知られたくないものもあるかも知れませんので、120周年記念誌など一部のものを除いては広く公開はできないのですが、当時在籍されていた方やそのご家族で、自分（家族）の作品を見たいと思われる方がおられましたら、学校に来て見ていただくことはできますので、ご連絡をお願いいたします。（電話 0797-91-0324）